

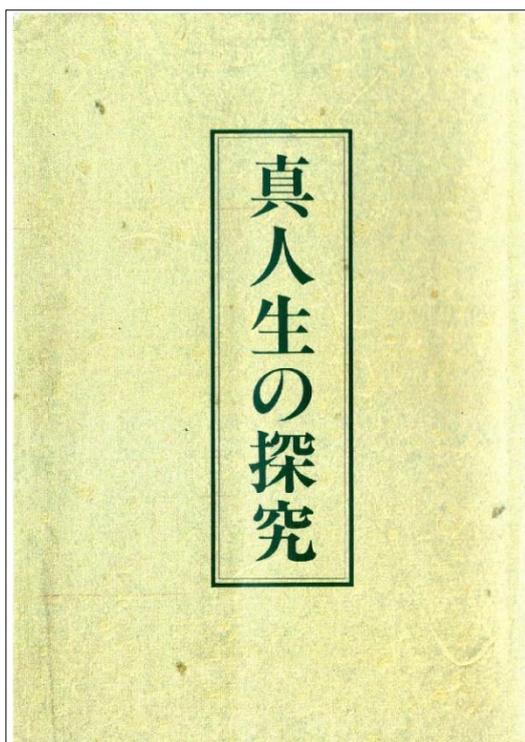
「心身統一法」を学ぶ、今月の一冊

中村天風著

「真人生の探求」

真理を信念し、積極と感謝の気持ちで心身統一法を日常生活の中で実践

紹介者：菅野吉郎 入会 2015年(平成27年)



昨年の令和元年は、公益財団法人天風会の創立100周年。天風先生が亡くなられ51年が経過しました。心身統一法の創設者である中村天風師の教えは、光り輝き、現在も多くの人が天風哲学を活かしております。

「我」とはなにか? 「真理」とは何か?! 「人生の目的、使命」とは何か?! 病苦と闘いつつ、修行して悟りを開き、自らの体験を基に潜勢力(体力、胆力、精力、脳力、判断力、断行力)を最大発現させる方法を、具体的(How to do)に述べられております。

私は「真人生の探求」の本を読み、真理を知り、人生の行き方を学び、感動、感謝の気持ち一杯になりました。それまでの自分の人生は心身不統一であり、又人生無自覚であったことを反省すると共に、心を立て直そうと決意しました。

心身統一法の実践に努めながら、本書を人生座右の好伴侶として何度も読み直す事によって新たな気持ちも出てきます。又、元の木阿弥に戻ってしまうこともありますが、怠らず、諦めず、慌てず、努力中です。

天風先生最後に結論として、生活目標を「靈性満足を目標とする」とし、常に誠と愛の心を以て万事万物に接すること、日々の自己の生活の中に行う言行を些かの注意をして出来るだけ世の中のために少しでもするように心がけること、とっております。

この事は、人間使命(進化・向上)の遂行・創造の生活、又、執着解脱のキーポイント、自己統御を完全に、、、と述べられております。

私にとっては、まさにこの本は、人生の羅針盤であります。心身統一法を実践することにより活力が湧いてきます。

病になろうが、不運、どん底になろうが、生命がある限り、真理を信念し、積極と感謝の気持ちで心身統一法を日常生活の中で実践して行けば、心が立て直され、

誰でもが、その事柄の試練を乗り越えることができます。

心身統一法の具体的な実践の方法、価値ある人生の行き方を教導しております。
絶対お勧めします。

「真人生の探求」の巻頭文をご紹介します。

この書は、真に人生を愛し、正しく人生を考える人々のために
編纂したものである。
特に病に悩む人や、運命的人生苦に懊悩する人に、
切にその熟読を衷心より勧奨する。

自序

古聖の言に、「病」「煩」「貧」を以て人の不幸の司となすというのがある。

また欧米でも、病氣と、煩悶と、貧乏とを人生の三大不幸と称している。

私は微力未だ遠く及ばざるものであったが、この三大不幸を、世の人々の中から少しでも軽減しようと、過去三十余年間、心身統一法と称する人生を理想的に、生き抜く力を現実化する、第一義的人生道を至道垂迹することに、殆ど努力の全部を傾注した。

が然し、今日までの私の所論を公刊したことは、単にその片鱗の二三に過ぎず由来人生に関する、特に実践を主体とするこの種のものは、文書を通じての会得では、往々その機微に触れ難きものあるを慮り、専ら人格と人格との接触に夜に如かずと断定し、主として講習教示を本位として今日に至ったが、日頃来、心友竹内芳衛博士其他知友の多くより熱烈な勧奨を受け、茲にこの書を編纂公刊することとした次第である。

従って書中輯めるところのものは、その何れもがすべて、私の独自の研鑽と体験とのコンサイズである。

ただできるだけ普遍的にという念願から、可及的に一切の理論釈明を常識的理解を本位とし、通俗的証明に主力を注いだつもりである。

然しながら、多くいうまでもなく、後半深遠にして有限微妙なる人生消息は、到底この小冊を以て、よし盡し得る処に非ず、よって人生に絡まる哲学や、さらに自然法の科学、就中生物学、生理化学、並びに精神科学や心理学の実際応用に関する理論釈明は、引き続き「研心抄」「鍊心抄」の各集を編纂し、その篇中に於いて演釈することとする存念である。

それ故、この書はそれ等の後者に対する原則的イントロダクションと考えられたい。
何れにしても、この書が諸子の人生座右の好伴侶たれと、衷心より祈るのみである。

千九百四十七佳年春

統一哲人

中村天風識